

FUJIEDA ROTARY CLUB

# Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

会長：柳原寿男 副会長：鈴木廣利  
幹事：宮川邦光 副幹事：松葉隆夫



2004-2005年度  
RIテーマ

## ロータリーを 祝おう

100年の歩み

グレンE.エステス・シニア



可睡ゆりの園にて

[写真提供：櫻井 龍太君]

## 第1583回

<ソング> 我等の生業

<ソングリーダー> 青島 克郎君

CELEBRATE  
ROTARY



### 会長挨拶

柳原 寿男君

本日は曾根啓弍ガバナー補佐、山本碓ガバナー補佐幹事をお迎えしてのクラブ協議会です。8月11日のガバナー公式訪問に向けて、ガバナー方針の伝達をいただくこととなります。

さて、グレン E. エステス・シニア2004～05年度RI会長のテーマは、100周年にふさわしく「ロータリーを祝おう」であります。此のテーマは「ロータリーの友」3月号に会長エレクトの立場で述べられています。更に、会長（幹事）エレクト研修セミナー（3月）地区協議会（4月）で配布された冊子の冒頭には「親愛なる同僚ロータリアンの皆様」の見出しで詳細な内容が記載されています。

渡邊脩助ガバナーは研修セミナー及び地区協の席上、次のように話されています。「ロータリーを祝おう」のテーマの真意は、単なるお祭りではなく、100年の歩みの中で多くのロータリアンが築かれた功績を表し、「超我の奉仕」の精神を確認し、新しい歴史に向かって更なる発展をしようということであると。

「ロータリーの友」7月号のウェイン・ハーン氏の「ロータリーを祝おう」及びキャスリーン・プラット氏の「強調される4つの奉仕」から、私なりに次のように理解しましたので、ご批判を仰ぎたいとおもいます。

100周年を祝う理由

1. 世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオの無い世界を実現したこと。

2. 166ヶ国120万人の会員が、奉仕活動に携わって、一世紀にもわたり成長と拡大を続けてきた事実。

3. 奉仕活動に貢献するロータリアンを祝福する。

<お祝いのやり方>

- ・ 過去の成功に対してではなく、現在の困難（例えば病気、自然災害、飢餓、貧困、残忍な紛争等）を改めて認識すること。
- ・ 超我の奉仕をすること。

<ロータリーを祝う人達>

会員、国際親善奨学生、ローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、GSEメンバー、ロータリー家族全体、更に我々が関係する地域社会の人々すべて。

更に100周年の広報活動を通して、ロータリーに対する認識、関心を高め会員増強へとつないでいくこと。

クラブ内では退会防止のために「ロータリーの家族」を中心に、気配りと思いやりのある環境を作っていくこと。

世界には100周年にまで達した団体はほとんど無い。100周年を迎えられるのは、ロータリーが正しいことをして来た、ロータリーの奉仕を地域社会が、世界中がまだまだ求めているためである。これからも例会場での親睦、世界へ向けて扉を開く国際性、新たなる問題に取り組む熱意とそれらの持続性が大切である。

RIは奉仕の第二世紀に入ろうとしている。ポリオ・プラス・プログラム、紛争解決のためのロータリーセンター、国際人道的活動等新たなる奉

仕に献身することこそ、「ロータリーを祝おう」の真の意味である。

### 幹事報告

宮川 邦光君

国際大会（関西）実行委員会事務局より国際大会ご協力のお礼状が届いております。

国際ロータリーより2004～05年度 official Directory が届いております。

株式会社TOKAIから役員の選任案内が届いております。

### 出席報告

松葉 隆夫君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
28 / 40 70%	31 / 40 77.5%

(1)欠席者（事前連絡とメーカーキャップをどうぞ）

石垣君 岩崎君 杉山君 成瀬君

宮崎君 望月志君 山田君 浅川君

板倉君 鈴木瞬君 仲田晃君

(2)メーカーキャップ者

片岡 利碩君（焼津南） 宮崎 啓之進君（藤枝南）

### ビジター

曽根 啓式静岡第5分区ガバナー補佐

山本 碓静岡第5分区ガバナー補佐幹事

西澤 健治君（藤枝南） 殿村 元二郎君（藤枝南）

### スマイルBOX

松葉 隆夫君

● 本日は曽根ガバナー補佐様、山本ガバナー補佐幹事様、ようこそおいで下さいました。宜しくご指導をお願い致します。

柳原会長、宮川幹事

● 一年間大変御世話になりました。 渡辺 篤司君  
● 国際奉仕委員長をおおせつかりました。皆様のご協力をいただき1年努めさせていただきます。宜しくお祈いします。 仲田 廣志君

● 昨年度プログラムにご協力ありがとうございました。他に何かニコニコを忘れたかもしれません。 青島 彰君

● 昨年度情報委員長を努めさせて頂き、ご協力ありがとうございました。 松葉 義之君

● ロータリー財団にご協力ありがとうございました。 前年度財団委員長 竹田 勲君

スマイル合計 91,000円

### 四大奉仕委員長基本方針・事業計画発表

（6月に発表できなかった為、本日会報にて発表いたします。）

クラブ奉仕委員会 委員長 鈴木 廣利君

#### 1. 基本方針

ロータリークラブを自動車に例えるならば、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の四大奉仕は車の四輪である。中でもクラブ奉仕は、ロータリーの原点とも云われる親睦活動を中心に会員相互の連携と団結を強め行動をひとつにする規律の執れた軍隊のようなクラブにする為に必要な委員会です。

会員の為になるクラブ、会員が「やる気を起こすことができる」例会、会員全員が参加するような職業社会奉仕、そんな当クラブの土台となる委員会にしたい。

#### 2. 事業計画

以上のような事を実行していく為にはクラブ奉仕委員会関連の委員長会議を行う他に各委員会に積極的にゲスト参加し、各委員会の意見を拝聴し会運営に反映させていきたい。

### 卓話

静岡第5分区ガバナー補佐

曽根 啓式様



新年度を迎え、第5分区のガバナー補佐に就任いたしました曽根で御座います。もとより、その器ではありませんが、一年間誠

心誠意務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

私のような者が、先輩の皆様の前でお話するのはおこがましい次第ですが、役目柄での発言とご容赦をお願い致します。

これから申し上げることは、クラブ計画書のな

かのR I会長方針や、ガバナー方針に書かれていますので、お読みいただきたいと思えます。

2004 - 2005年度R I会長はグレンE・エステス・シニア氏です。エステス会長は、アメリカ・アラバマ州のシェイズバレーRCに所属しております。エステス会長の本年度のテーマは  
CELEBRATE ROTARY 「ロータリーを祝おう」です。

1905年に誕生したロータリーは、本年度100周年を迎えます。

世界166カ国で120万人が奉仕するという、一世紀に渉る成長と拡大を祝い、ロータリアンの心温まる親睦を祝おうということです。

ポリオ撲滅に関するロータリアンの献身は、ロータリーにとって始めての大きなプロジェクトでしたが、20年を経過して目標達成寸前にまで来ております。これも百周年をお祝いする大きな理由の一つです。

ロータリーの力の源は、各クラブです。クラブや地区が、ロータリーを築き上げる為に、どのような働きをしたかよく考え、私達がこれまで成し遂げてきたものや、これからなにを為すべきかを考えて、百周年をお祝いすべきと思います。

更にエステス会長は、4つの重要な場所でロータリーを祝うように言っております。

1. あなたのクラブでロータリーを祝おう
2. あなたの職場でロータリーを祝おう
3. あなたの地域社会でロータリーを祝おう
4. 私達の世界でロータリーを祝おう

これら、エステス会長のテーマの内容は、本質的には前年のジョナサン・マジニアベ会長のテーマと殆ど同じでありまして、「手を貸そう」が100周年ということで「ロータリーを祝おう」に変わったと考えて頂ければ良いと思えます。

#### 国際ロータリー第2620地区

渡邊脩助ガバナーの方針と目標

私達の国際ロータリー第2620地区のガバナーに渡邊脩助氏が就任されました。渡邊ガバナー

は、三島RCの所属で、医療法人三島慈生会、渡邊整形外科理事長、院長で、整形外科医のお医者さんです。ガバナーというと、近寄り難い雰囲気を感じさせますが、庶民的な方で、お話も美辞麗句を並べるようなことなく、必要な事を的確に話される方です。

ガバナーとして、改めてテーマを設定されることはありませんが、エステス会長の「ロータリーを祝おう」は、「ただお目出度いとお祝いする意味ではありません。百年の重さとその業績に敬意を表し、超我の奉仕の精神を再確認し、次の百年に向けて更なる発展を目指す為に祝おうなのです」と言われております。

#### 百周年の三大目標

##### 1. ポリオプラスの前進によるポリオの撲滅

ロータリーがWHOと共に20年来取り組んできたプロジェクトが目標達成寸前に来ております。2005年に完成する為の最後の募金は、地区として3年間に513,000ドルで、本年も会員ひとり当たり2,000円をお願いいたします。

##### 2. 会員増強 大会防止 ロータリー家族の強調

地区内のロータリアンは、4,000人を超えておりましたが、2002年に4,000人を割り込んで以来、3,800 - 3,900人の間にあります。会員増強、退会防止につとめるほか、なくなった会員の家族を例会等に招いて親睦を深めると共に、次の会員増強につなげる。

##### 3. ロータリー財団寄付

Every Rortalian Every Year 100 \$

ロータリアン 毎年一人 年次寄付 100 \$

当分区でこの数字を出すと、逆効果になりますが平均額は80 \$ ぐらいでありますので、R Iでは100 \$ をお願いしたいと言っております。地区の目標は120 \$ です。本年は既に、目標額を提出していただいておりますので、各クラブともその達成を宜しくお願い致します。

#### 二大百周年活動

1. 双子クラブプログラム (ツインクラブ)  
マッチンググラント (Matching Grant) の出来るようなクラブ

## 2. 百周年社会奉仕プロジェクト

地区の百周年記念事業として、富士山の環境問題を始め、それぞれの地域で環境を見直す啓発事業に取り組むことになりました。

「美しい日本を子供達に残したい」という考えのもとに、富士山の美化を中心に運動を進めて行きます。

富士山が世界遺産になれなかったのは、ご存知のように、ゴミ、空き缶、タバコの投げ捨て、業者の不法投棄の環境汚染が一因となっております。

地区では、この問題を少しでも多くの方々に訴える為に、地区内の小中学生からポスター(一分区5点)作文(一分区3点)を募集する事にしました。後程、各クラブへお願い致しますので、宜しくお願い致します。

2004 - 2005年度 地区目標

### 1. 会員増強

2000年6月に4,213名だった地区内の会員が2001年6月に4,157名、2002年6月3,949名、2003年6月3,822名、2004年4月3,853名となって4年間で10%減少しているのが現状です。

このような状況の中で、会員増強をするのは非常に困難であることは、解っておりますが、増強しなくてはならないことも、各会員が充分承知していると思います。

60名以上のクラブ	+ 4名
40 - 59名のクラブ	+ 3名
39名以下のクラブ	+ 2名

会員増強と共に、Q O R (Quality Of Rotarian) の向上も要望されております。

### 2. ロータリー財団寄付 US 120 \$

ガバナー挨拶の中で、毎年、一人100 \$ というエステス会長の言葉が引用されておりますが、当地区では前年同様に一人120 \$ を目標

としております。第5分区は、最近殆どこの目標を達成して頂いております。

財団寄付もこれまでは、3年後に寄付額の60%がDDFとして、戻って参りまして奨学金などに利用されてきましたが、だんだん厳しくなり、これからは50%しか戻ってこなくなります。

同じ事業をする為には、以前の20%増の寄付をしなくてはならない、ということになります。

### 3. ベネファクター 1クラブ1年1名以上

ロータリー財団の基金に1,000ドル寄付すると、ベネファクターの称号が与えられます。これは年次寄付と違って恒久基金で、積み立てられて、その利息がロータリー財団の事業に利用されます。

### 4. 米山記念奨学会事業寄付

一人一年12,000円

日本のロータリー創設者、米山梅吉氏を記念して始められた事業です。ロータリー財団奨学生が、この地区では送出し専門に使われているのに対し、米山奨学金は日本へ留学して来る、近隣諸国の留学生に支給されております。

年間の地区の寄付額に対して、支給される人数が決まってくるので、一定の金額がのぞまれます。当地区では、年間20名前後の学生に奨学金を出しております。普通寄付と特別寄付があり、特別寄付は積み立てられて、10万円、30万円で米山功労者の称号が与えられます。

### 5. 研究グループ交換 G S E

一年間行われませんでしたでしたが、本年は4月に(前年度の対応)アメリカ・フロリダの6960地区へG S Eを派遣しました。

10月に同地区から5名を受け入れることになっております。10月10日から、地区大会をはさんで11月6日まで滞在する事になっております。原則的にホームステイすることになっておりますので、受け入れが二つの分区に跨りますと、集合などに時間がかかるという事で、

本年は第4分区だけで受け持ってくれることになりました。

10月10日から16日までの1週間、第4分区内でホームステイします。

順番で、来年は第5分区で受け持つこととなります。

#### 6. ポリオプラス協力金

一人一年 2,000円

1985年に始まった、ロータリーのポリオ撲滅運動は最終段階に入っております。99%を達成し、あと1%を残すのみとなっております。

2005年のロータリー百周年に、完全なポリオ撲滅を果たすために、RIでは3年間に8,000万ドルを募金する運動を始めました。

日本はこの内20%に当たる1,600万ドルを負担し、当地区の負担は513,000ドルになりました。この負担は、一部DDFの中から出しても良いということで、2年間奨学生を3名減らし、あとは、ロータリアン一人一年2,000円の協力をお願いする事になっております。

#### 7. 百周年記念事業

(富士山シンポジウム環境問題)

「富士山を世界遺産に」のキャンペーンは、ロータリーが中心になって進められておりますが、実現されておられません。何故、富士山が世界遺産になれなかったのか。それは、心無い人達の為に、ゴミが溢れ、空き缶やタバコの投げ捨て、業者による不法投棄等の環境破壊に原因があります。

このような状況を打開するために、地区として地区内の小中学生から「ポスター」と「作文」を募集して地区大会やガバナー月信でPRして広く地区内に呼びかけることになりました。

#### 8. レディースフォーラムの支援

2004年7月31日(土)Hアソシア・静岡ターミナルにおいて拡大委員会とレディースフォーラムを開催して、女性会員が創り出す魅

力ある奉仕活動を奨励する。

女性会員全員の参加をお願いしている。

#### 9. IT活動の支援

ガバナー訪問 8月11日(水)小杉苑 藤枝RCと合同

IM 2005年3月12日(土)榛南

#### クラブ協議会開催

例会終了後、ガバナー補佐、ガバナー補佐幹事をお迎えし、クラブ協議会が開催され、各委員長の活動方針、計画発表を致しました。



(担当/池ノ谷)